

医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第37号

(H28/7/8)

平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

7月に入り、晴れの日が多くなりましたが、大津住まいの私は例年以上に雨の多い6月だったと思い、

気象庁のホームページの期間合計降水量一覧表 2016年7月3日までの前30日合計降水量を調べてみました。

大津市は平年比 138%南小松は 149%近江八幡 121%長浜 115%今津 98%・・・など大津は雨量が多かったのですが地域によって例年通りのところもあったようです。

台風、雷が増える暑い夏になりますが、みなさま熱中症などに気を付けてお過ごしください。

第46回ワーキング会議(6/30)

滋賀県庁 北新館 5A会議室

初参加2名を含む 27名で行いました。

〈参加職種：医師・病院看護師・訪問看護師・保健師・薬剤師・管理栄養士
介護支援専門員・社会労務士・住職・学生・行政〉

こんな活動に取り組んでいます！こんな取り組みを知っています！

- ・住職として お寺でサロン・体操・子供と高齢者の融合・子ども食堂・お泊り会。
- ・地域連携室で退院支援などを行っている。ベッドサイドでの仕事が多い。
- ・地域の出前講座を実施。認知症対策。
- ・管理栄養士として訪問栄養指導に従事。
- ・ケアマネとして東近江で多職種専門家のネットワーク、専門家と住民参加の意見交換を進めている。
- ・県庁の人事担当として介護離職ゼロが可能な勤務体系を検討中。
- ・地域での互助体制の構築。自治会などが大切。
- ・一般行政職の勉強会を提案中。
- ・お寺でみんなが自分の死に方を話したり、一行日記をつけている。



目指す姿に向け、自分たちができることは何だろう

- ・多職種協働の人材システムづくり
- ・滋賀は行政と学生と医療・介護職との距離が近いのでつながりを強くしていく
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 に医療職以外にも参加してもらう。
- ・情報発信が重要。効果的な発信方法を考える必要がある。似鳥一人の近い形。小さい集まりで啓発することが有効。
- ・発信内容として「どういう死に方をしたいか？」という価値観を考える機会を与えることが重要。
- ・お寺の活用が有効。誰にでも来ることができる信用があるお寺は地域の人々よりどころという本来の役割を果たし、「町の保健室」として機能してもらうのがよい。



滋賀の医療福祉福祉を守り育てる県民フォーラム
平成28年11月26日(土)13:00~16:30(予定)
ピアザ淡海 ピアザホール
麻倉ケイトさん(歌手・モデル)
「(仮)自分らしい人生を歩むために」

次第

- ☆あいさつ・報告・連絡事項
- ☆「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」
- ・28年度の活動について



☆意見交換

「私たち創造会議が目指す場所とは」
このワーキンググループ会議ももうすぐ50回を迎えます。これからの当会議のあり方を皆さんで考え、それぞれの活動なども紹介し合っ
てたくさんの方とじっくり話せる機会に
しました。

今後のワーキンググループ会議の予定

7月28日(木) 18:30~

ひこね燦ばれす

「(仮)米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」での
取り組み」

講師：中村泰之先生

(米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」センター長)

平成28年度
医療福祉・在宅看取りの地域創造会議
総会

平成28年8月27日(土)

13:30~17:00

ホテルピアザびわ湖

クリスタルルーム

基調講演 講師：榎本真津氏

(滋賀県医療福祉アドバイザー)

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 貝沼・橋本

TEL:077-528-3581

FAX:077-528-4851

E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

